



資源管理措置 現状を継続へ

2月28日、令和3年度第2回サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会がウェブで開催さ

れた。本県からは、漁業者代表委員として日出地区漁業運営委員の北野和貴氏、漁協委員として専務理事が、県水産振興課及び県漁協漁政課の職員とともに水産会館から参加した。議事では、前年秋漁の操業状況及び資源評価が報告され、次年度も現状の資源管理措置を継続ことで合意した。

第2回 サワラ瀬戸内海系群 資源管理漁業者協議会を開催

豊かな海づくり大会へ始動 準備委員会発足

9日、第43回全国豊かな海づくり大会に向け準備委員会(委員長:県農林水産部長)が発足。第1回委員会が開催された。

大会の概要や開催までの経緯、今後の日程等について報告があり、大会の基本構想や開催地選定基準について協議した。

準備委員会は本年10月に設立予定の実行委員会に向け、3回程度の会合を持つ予定。大会の基本構想案の策定や開催候補地の絞り込みについて協議する。
第1回委員会では県から開催候補地の選定基準が示され、「式典」、「海上歓迎・放流」の各行事ごとに施設や駐車場の規模、交通アクセス等の条件が明示された。
委員は、沿海市町村、県の関係部局、沿海振興局等の他、水産関係として県漁協と県漁業公社から選任されている。

JF大分

水産おおいた

発行元
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>



水産被害7億4千万円超 水産庁現地調査「漁業活動に支障」

最大震度5強を記録した日向灘地震では、佐伯市を主体に被害が拡大している。2月18日時点で県がとりまとめた被害状況によると、漁港施設約4億8千万円、水産施設(漁協施設を含む)2億6千万円など、合計で7億4千万円を超えることがわかった。



このような状況を受け、2、3日には国による現地調査が行われた。来県したのは水産庁漁港漁場整備部防災漁村課の佐藤昭人総括災害査定官。2日に松浦漁港と色宮漁港、3日に入津漁港、元猿漁港、屋形島漁港及び蒲江漁港の被災カ所を視察した。激しい揺れで地盤が沈下しズレやひび割れが生じた漁港岸壁、建物が傾斜して破損した製氷貯氷施設、中央部が陥没して水が捌けなくなった荷さばき施設などについて、県や佐伯市の担当者、県漁協の委員長や支店長から詳細な説明を聞いた。また、県漁協本店からも中根組合長等が同行し、復旧に向けた県との連携や必要な手続き等につ

いてアドバイスを受けた。
県漁協は、自民党県連の阿部英仁会長らにも被害状況を報告、説明し、復旧に向けた力強い支援を要請している。漁協の共同利用施設を復旧するためには、その土台となる漁港用地の地盤強化などが必要であり、当面の応急措置による利用再開と抜本的対策の両面から対策が必要だ。
調査に同行して感じたのは、被災カ所は未だに拡がりつつあることだ。これ以上傷口を悪化させないよう迅速かつ的確な対策が求められている。
また、陸上養殖施設の被害に対しても、県や市の支援を求めていく。▽5面「理事会」参照



(右)
左から、中根組合長、嶋原委員長、田中市長、佐藤査定官



(左)
左から、橋本委員長、佐藤査定官、小野支店長

漁協系 功労者表彰



羽迫光雅氏 (香々地支店)

第36回漁協系統功労者表彰において、羽迫光雅さん(香々地支店・香々地地区漁業運営委員長、JFおおいた監事)が漁協運

祝表彰



県功労者表彰

米水津はまち養殖漁業生産組合

令和3年の大分県功労者表彰(文化の日県知事表彰)において、米水津はまち養殖漁業生産組合(宮本政宏組合長理事)が表彰された。功績は次の通り。

○平成16年10月に2生産組合が合併し、現組織となり、抗酸化作用のあるポリフェノールを含んだ餌を給餌することで、県

動功績者として表彰された。功績は次の通り。

○長期にわたり、JFおおいた香々地地区漁業運営委員長として地区漁業者のリーダーとなり、地域漁業の発展に努めた。

○JFおおいたの役員、水産関係団体の役員を務め、JFグループの模範となる者であり、漁業協同組合系統運動の推進及び発展に著しい功績があった。

長年の功績が認められ令和3年度に表彰された皆様には、本県漁業の振興・発展に大きく寄与されました。改めて感謝するとともに、心からお祝いを申し上げます。

下に先駆けて血合い部分の変色抑制に取り組み「海の匠」としてブランド化した。

○平成24年、さらなる品質向上を目的に県や地元水産加工会社等と共同で飼料に添加するかぼす果皮パウダーを開発、ブランド魚「かぼすブリ」の生産に着手した。その品質は県内外に高く評価され全国販売に繋がっている。

○当組合による養殖ブリの生産量は県内でトップクラスであり、本県養殖業の振興に大きく貢献している。



あなたの思いをカタチに。 オススメキャンペーン

おおいたの魚 パートナーシップ量販店

ベルク全126店で開催

共同企画

ベルク × おんせん県おおいた × KAGOME

洋風10分煮魚 <https://www.kagome.co.jp/products/recipe/MZ3297/>

ブリのトマトパッツァ <https://www.kagome.co.jp/products/recipe/MZ3219/>

洋風ぶり大根 <https://www.kagome.co.jp/products/recipe/M13428/>

ブリの塩焼きトマトソース添え <https://www.kagome.co.jp/products/recipe/M11492/>

県は、関東圏における県産水産物の認知度向上及び消費拡大を図るため、8日〜28日の間、おおいたの魚パートナーシップ量販店(株)ベルク(埼玉県鶴ヶ島市・原島一誠社長)の全店で「Theおおいたオススメキャンペーン」を実施した。

海産コーナーでは、県産養殖ブリ(土日はかぼすブリも)が切身、刺身、しゃぶしゃぶ用、ぶり大根用等、寿司コーナーでは握り寿司が販売され好評だった。また、



(左) 関もの食べ比べセット (下) 豊後別府湾ちりめんセット



カゴメ(株)と連携し、同社が開発した養ブリの簡単・時短レシピも展示し、新しい食べ方提案もできた。対象商品を含む1000円以上を購入し応募した方には、抽選で県産品等が当たるプレゼントもあり、3月1日の締切後に「関もの食べ比べセット」や「豊後別府湾ちりめんセット」(写真)が贈られる。このイベントは、県がマーケティングアドバイザーを委嘱している(株)三共物商等と連携して実現した。

かぼすブリの恵方巻を販売

イオン 350店




本州、四国のイオン約350店舗で「かぼすブリの恵方巻」が販売された。今年6魚種のプライドフィッシュが登場した。かぼすブリのほかは、「茨城常磐のまさばの昆布太巻」「ふくい甘えびの太巻」、「京鯖の昆布太巻」、「愛育フィッシュ愛鯛の太巻」、「土佐沖どれキンメダイの太巻」。また、各太巻を1/4サイズカットした「プライドフィッシュ巻6種セット」も販売された。12月10日〜1月28日まで店頭とネットで予約を受け付け、2月1日〜3日に販売され好評だった。

令和4年度当初予算案発表 大分県

～ポストコロナへ向け 7,178億円の大型予算～

県は14日、広瀬知事が臨時会見を行い、4年度の一般会計当初予算案を発表した。予算総額は、対前年2.2%増の7,178億円、うち農林水産部関係は同0.6%増の627億円となった。

予算編成の基本方針は、① 新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底と社会経済の再活性化、② 人口ビジョンの実現に向けた大分県版地方創生の加速、③ DXの推進、先端技術の活用、宇宙への挑戦などポストコロナに向けた構造改革の3点。24日に開会予定の第1回定例県議会に提案される。

安心・活力・発展の施策体系に沿って示された主な水産関係事業は、表のとおり。

事業名	4年度当初予算案 (3年度当初予算)	当初予算案の概要	所管課
1 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県 ⑧強靱な県土づくりと危機管理体制の充実			
緊急自然災害防止対策事業(県単独事業)のうち・農林水産施設災害防止緊急対策事業	250,000 (250,000)	災害に対して強靱な県土をつくり県民の安全を確保するため、国庫補助事業の対象とならないため池の廃止や、治山・林道・漁港海岸の改修等を実施する。 ・漁港海岸施設の改修 香々地漁港海岸(豊後高田市) など	農林水産企画課
2 いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県 ①挑戦と努力が報われる農林水産業の実現			
ブリ類養殖業生産体制強化推進事業	14,791 (10,598)	ブリ類養殖業の周年出荷体制を強化するため、突発的なモジャコ不漁に対応できる体制を構築するとともに、人工種苗を用いた養殖試験を実施する。 【特】適正サイズに満たない小型天然モジャコの給餌技術の開発 【特】モジャコ不漁時に対応できる人工種苗供給体制の構築 ・出荷時期が調整可能な人工種苗の養殖試験の実施	水産振興課
【特】海洋環境保全型養殖推進事業	45,284 (0)	養殖ブリ類の安定生産を図るため、環境負荷を軽減した持続可能な養殖手法を実証するとともに、海底環境の改善による赤潮発生の抑止技術の確立に取り組む。 ・銅合金製網の浮沈式生け簀を活用した養殖手法の実証 など	漁業管理課
沿岸漁業振興特別対策事業	16,295 (6,984)	沿岸漁業の振興を図るため、漁場整備や漁業近代化施設、流通加工施設等の整備を支援する。 【新】ブリ加工施設の実施設設計への助成 補助率 2/3(県1/3 市1/3) など	水産振興課
沿岸漁業漁村振興構造改善事業	451,627 (27,720)	沿岸漁業の振興を図るため、生産基盤の整備や漁業近代化施設の整備を支援する。 【新】クルマエビ種苗生産施設の整備への助成 補助率 6.5/10	水産振興課
県産水産物流通拡大推進事業	12,796 (12,097)	県産水産物の流通拡大を図るため、大消費地での販促活動やコロナ禍で増加した内食需要を確実に取り込むための取組を支援する。 【特】外食版パートナーシップ量販店でのフェアの開催 【特】対面販売を行う人材の育成や著名人によるメニューの開発 など	漁業管理課
農林水産物輸出需要開拓事業	61,000 (44,063)	海外の市場を取り込み農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会等が行う輸出拡大の取組を支援する。 【特】現地商社と連携した日本食レストランフェアの開催	おおいたブランド推進課
【新】全国豊かな海づくり大会開催準備事業	5,751 (0)	水産資源の保護や、海や河川の環境保全の大切さを国民に訴えるとともに漁業の振興と発展を図るため、令和6年度に本県で開催する第43回全国豊かな海づくり大会に向けて、基本構想の策定等を行う。	漁業管理課

【新】は「新規事業」、【特】は「ポストコロナおおいた挑戦事業」

詳細は大分県のHP参照

令和4年度一般会計当初予算案の概要 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2133323.pdf>

令和4年度当初予算案関係資料 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2133324.pdf>



(上)ブリの人工採卵
(右)ブリのふ化仔魚



パートナーシップ量販店でのフェア

全国豊かな海づくり大会
(右)大会旗、日章旗、県旗
(下)海上歓迎行事・イメージ



水 研 だ よ り

魚類食害防除カゴを用いたカジメ・クロメ人工種苗の増殖試験

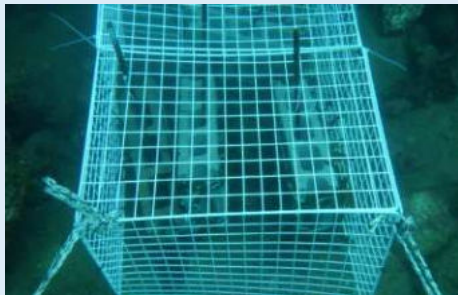
カジメとクロメは、大型・多年生の褐藻類であり、大規模な群落を形成します。このような海藻群落は“藻場”と呼ばれ、稚魚や貝類の生育場等の重要な役割を担っています。しかし、昨今の地球温暖化による水温上昇や貧栄養化等の影響で、カジメ・クロメ藻場が減少傾向にあります。また近年、魚類による食害が増加傾向にあり、本県でも被害が報告されています。

そこで、水産研究部と北部水産グループでは、魚類の食害を防除するカゴを用いたカジメ・クロメ人工種苗の増殖試験に取り組んでいます。

2020年12月から人工種苗の作出を開始し、2021年11月までに18万本を作出して現地増殖試験を実施中です。人工種苗は建材ブロックに括着させ、姫島、津久見、保戸島、上浦、米水津、上入津支店の各地先に2021年7月から設置しました。人工種苗には、ステンレス製メッシュパネルで作成した食害防除カゴ(縦90cm×横90cm×高さ45cm)を被せ、カゴの有無による種苗の食害状況を調査しました。

2021年12月時点では、姫島、津久見、保戸島、上浦支店において、食害防除カゴで覆った人工種苗だけが残存・生長しました(設置時、葉長6~10cm → 12月時点、葉長12~24cm)。なお、保戸島では、食害防除カゴで覆わなかった人工種苗がイラ(地方名:ボーズ、ミケボーズ)に食べられる様子も確認しました。以上の結果から、食害防除カゴが魚類の食害に有効であり、これらの地先ではカゴによる保護が不可欠であることが分かりました。なお、今回設置した人工種苗は今年の秋頃に成熟し、胞子を放出する見込みです。この胞子が岩盤等に括着し、晩秋に発芽して新芽になります。

今後は、より簡便な食害防除対策を講じるとともに、人工種苗の量産化技術の開発にも取り組みます。2022年は建材ブロック50個分の人工種苗を6月から現地増殖試験に供する予定です。ゆくゆくは建材ブロック200個分を県内各地先に設置し、カジメ・クロメ類の増殖に寄与したいと考えています。



食害防除カゴで覆った人工種苗
保戸島2021/11/2設置



食害防除カゴで覆った人工種苗
保戸島2021/12/24/観察、設置52日目



保戸島に設置した人工種苗
(2021/11/2設置、育成309日目、葉長7cm、1,300本)



食害防除カゴで覆わなかった人工種苗
保戸島2021/11/2設置



食害防除カゴで覆わなかった人工種苗
保戸島2021/12/24観察、設置52日目

海区漁業調整委員会
第7回委員会開催

17日、県水産会館5階研修室において、第7回大分海区漁業調整委員会が開催された。

第1号議案「豊後水道におけるたる流し漁業(立縄釣漁業)の禁止について」、第2号議案「伊予灘及び豊後水道におけるくるまえびの採捕の禁止について」では、いずれも引き続き委員会指示を发出することに決した。

第3号議案「あわび類、うに類の採捕の禁止について」では、種苗放流場所を2年間禁漁とするための公的担保措置として委員会指示を发出することに決した。

第4号議案「知事許可漁業の制限措置及び申請期間並びに許可の有効期間について」では、蒲江地区の小型まき網漁業の船舶の上限数を2隻から3隻に変更すること及び豊後高田地区に新たに潜水器漁業を許可することについて、知事に問題ない旨を答申することに決した。

第5号議案では「知事許可漁業における制限措置の一部変更について」、共第3号内(宇佐地区)の小型機船底びき網漁業手練第2種なまこぎ網漁業の操業時期を、現行の11月1日から翌年の3月20日までを、3月31日までに延長することについて、知事に問題ない旨を答申することに決した。

2月1日付け

辞令交付



左から平川主任、松原係長、中根組合長、平石主任、下郡主任

2月1日付けで人事異動が行われ、8名の中堅職員に昇格辞令が発令された。このうち、本店付けの4名に対し、中根組合長から辞令を交付した。皆さんの益々のご活躍を祈念します。

- 【本店】▽総務部総務課係長(同主任)松原幹弘▽信用事業部資金課主任(同書記)平川ともみ▽経済事業部販売課主任(同書記)下郡祥平、主任(同書記)平石光一郎
- 【姫島支店】信用担当主任(信用担当)岩本久美子
- 【武蔵支店】信用・共済担当主任(信用・共済担当)芹川陽子
- 【名護屋支店】業務担当主任(業務担当)高羽峰子
- 【水産物加工処理施設】業務2課主任(業務2課)後藤慶彦

人事異動(2月1日付)

第10回理事会を開催

21日、本年度の第10回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」、第2号議案「日向灘地震被災に伴う要望(予算措置)について」及び第3号議案「総会の部会の開催について」の3議案を上げ、いずれも承認された。

日向灘地震被災対策については、漁業生産活動に支障が大きいため、漁業生産活動に支障が大きい箇所を優先して対応すべき等の意見が出された。▽要望活動は次号

また、「余裕金の運用状況報告について」、「令和3年度・上半期監事監査の指摘事項について」、

監事と執行部が意見交換 監査報告を踏まえ「計画的な増資を」

2日、第6回監事会が開催され、「令和3年度上半期決算監査報告書」が大河代表監事から中根組合長に手交された。

監査結果では、総評として「県漁協が直面する問題点と課題」が指摘された。

県漁協が直面する問題点

・収益環境の変化に伴う事業利益段階での赤字化、財務基盤の

脆弱化

・施設の老朽化

・電算システムの定期更新等への費用負担の増加

・職員の大量定年退職と、これに伴う後任人員及び人材不足
・会計監査人監査への移行等規制が強化される信用事業への対応

県漁協が解決すべき課題

・組織構造の合理化、集約化、

整理、縮小等を柱とする内部再編

・財務健全化の早急な実現
・将来シミュレーションの作成や中長期の実践計画の樹立など具体的な組織検討

次いで、課題解決のために必要な「改善・検討を要する事項」が示された。

改善・検討を要する事項

- ・支店及び取次店の事務合理化と店舗再編
- ・自己資本基準への適合に向けた増資の取組
- ・会計監査人監査への対応

- ・収益不振支店等の経営改善
- ・組織内経費の統一化
- ・内部検査指摘事項の改善
- ・「不祥事件再発防止に関する計画」の確実な実践
- ・新規事業の取組
- ・大口債権の管理回収
- ・未収金の回収等債権管理

以上の監査報告を踏まえ「増資」について監事と執行部が意見を交わした。

◆ ◆ ◆
監事側からは、これまでの度重なる増資の要請に執行部が応えてこなかった点を指摘し、目前に迫った公認会計士監査に対応するためにも、期限と目標を明確

にした増資計画を実行に移し、県漁協としての姿勢を示すべき等の意見が出た。

これに対し執行部から、まずは役員、運営委員が報酬額の一定割合を積み立て増資に充てるなど範を示し、一般の組合員にもお願いすべきではないか。また店舗再編による資産の圧縮と経費の削減も併せ進めなければ、組合員の納得は得られない等の意見が出た。

監事と執行部は、いずれも増資の必要性や役員の率先した取組については同じ認識であり、今後は理事会で十分に内容を協議、検討して行くことで合意した。

「係争事件の判決結果について」及び「令和4年参議院議員選挙に向けた候補者の推薦について」を協議・報告した。

監査の指摘事項については、先に監事と執行部で意見交換した結果を踏まえ、増資の必要性について説明し、その具体的な取組案を提示した。平均以上に投資している者にも増資を求めるとは、増資の必要性を数字で示すべき等の意見があり、今後さらに理事会で議論を深めることとなった。

令和4年参議院議員選挙については、古庄はるとも氏を推薦することとした。

JF シェルナース動画のご案内



JF シェルナースは、カキやホタテ、アコヤなどの貝殻を有効利用した人工魚礁で、大分県内の海中に3,441 基が設置されています。(2021.4.1 現在)

これまでに数多くの効果調査を実施し、その結果をフィードバックすることで豊かな海づくりを目指しています。

これらの調査や取り組みの状況を YouTube で公開していますので、右の QR コードからアクセスしてぜひご視聴ください！

海洋建設(株) YouTube はこちらから→ <https://www.youtube.com/user/KaiyohKensetsu>

大分県大分市高島北
シェルナース 2.2 型
効果調査 (2020. 9. 9)



海洋建設株式会社
チャンネル登録者数 90人

チャンネル登録

ホーム 動画 再生リスト チャンネル 概要

2022.2.20 現在(動画数 105)

並べ替え

他にも多数公開していますので、ぜひご視聴ください！

特殊詐欺の不審電話やハガキに注意！
(あなたや家族は大丈夫ですか?)

振り込め詐欺に注意

あわてない！ 確かめて！ 振り込まない！



オレオレ詐欺

「電話番号が変わった」は詐欺
同意会名等特を悪用し、家族(息子等)の人名をかたる。
「星彩をひいて、声が変わった」
「示談金が必要」
「投資に失敗して借金ができた」



架空請求詐欺

「はっきりしない請求」は無視して相談
サイト利用料や退会料・未納料金などをとちあげ
お金を要求する。
「民事訴訟裁判連連書」「最終通告」など不安をあおる。
「多重債務者リストの名前を削除するのに費用が必要です」



融資保証金詐欺

「手数料や保証金が必要」は詐欺
ダイレクトメールや電子メールで融資の勧誘を行う。
「担保、保証人なしで高額融資します」
「多重債務を一本化します」



還付金等詐欺

「ATMでお金を返す」は詐欺
自治体や社会保険事務所の職員を装って電話をかけ、
携帯電話で指示しながら、ATMを操作させる。
「過去に払った医療費の払い戻し金がある」
「過去に払った医療費の払い戻し金がある」
「携帯電話を持ってATMへ行ってください」

「困った!」「どうしよう!」は一人で悩まず110番

大分県安全・安心まちづくり協議会 大分県 大分県警察

—大分県安全・安心まちづくり推進本部—
☎097-534-2038

(この項目は県漁業管理課の要請を受けて掲載しています)

ランド
2月は

中津
フェア

「県産魚の日」・2月は第4金曜日の25日に「中津フェア」を開催した。
ランドの店頭には、特産の牡蠣「ひがた美人」や海苔などが並んだ。OP
A店では中津地区の組合員増田朋宏さんが海苔を直売し、好評だった。
コロナ禍の厳しい販売が続くが、県産魚の利用促進に努めたい。

ひがた美人 真牡蠣
2月25日(金)
毎月第4金曜日は
おおいた県産魚の日
海苔
おさかなランドOPA店



(上)ひがた美人
(下)舌平目とイカの
一夜干し

中津特産の海苔



今回は麺類。国東市富来「松風」の「たこちゃんぽん」1000円也。
結構有名な一品なので以前から食べたかったが、なかなか昼飯時に国東を通らない、あるいは良い時間だと長蛇の列で待ちきれない、と言ったご縁のない状況が続いていた。
そこで今回、建国記念の祝日を利用して漁業公社の建設現場を視察し、「たこちゃんぽん」を食べるお手軽日帰りツアーを挙行。
昼飯時に視察をすませ、13時に「松風」着。この時間でも満員で、車待つこと20分、店内で注文してさらに15分。待望の「たこちゃんぽん」は、「くにさき

サカナをたべれば
幸福が見えてくる

オメシ



2年間勤務した漁業公社国東事業所は古く、生産性以前に危険であった。国・県の予算措置で建て替えが始まり、改めて現状を見に行つた。見慣れた建物が壊され、順次新施設が建てられる。残された池では出荷を待つアユの稚魚が泳ぎ回っていた。
5年度に竣工し本格稼働をはじめた翌6年度は「海づくり大会」。まさに栽培漁業のシンボル施設としてお披露目が待ち遠しい。

編集後記

姫だこのぶつ切りと焼きつくねを贅沢にトッピング、野菜もたっぷり、スープはくどくなく評判どおりの一杯だった。
今回は姫だこカレーなども試したい。お土産に、これも有名なアンプルパイ400円をゲットし、満足の帰路についた。

